



アクセス

○中央バス

麻01 屯田6条12丁目行き

麻生のりば③ ⇄ 屯田小学校 下車徒歩5分

麻17 石狩庁舎前行き

麻生のりば③ ⇄ 屯田9条6丁目 下車徒歩10分

スタッフ

管理者・サービス管理責任者 1名

課長 1名

主任/副主任/チーフ 2名

生活支援員 9名

社会福祉法人はるにれの里 生活介護事業所 ぼぬーる



〒002-0857

札幌市北区屯田7条7丁目6-16

TEL 011-788-5182

FAX 011-788-5185

URL <http://www.harunire.or.jp>

地域に根差す生活介護として

「つながるプロジェクト」という、ぼぬーるのことを地域に知っていただくための取り組みを行っています。地域との関わりとしては、ウエスの販売を通じての企業様とのつながり。同法人『こむぎっこの』のパン販売を通じた保育園とのつながり。町内会活動などが挙げられます。町内会の子ども会とのコラボレーションでイベントも開催しました。これからも、プロジェクト活動を通じて、ぼぬーる・利用者を知っていただき、地域や社会資源と利用者がつながる架け橋となるよう取り組んでいきます。



得意なことを活かせる場として

自分のことを自分ですることになったときに、『やり方がわからないからできない。』『やったことがないからしない。』という方が意外と多いものです。『いつ、なにを、どこで、どのようにするのか。終わりがいつか。終わったらどうするのか』が一人一人のわかりやすい情報にするとできることも多いはずです。サポートの中で得意な事を整理して、わかりやすい情報に変えていくことで自信を持って活動できる。それを学び、自己実現できる場でありたいと思います。



どうして良いかわからない時間を『わかる時間』に

見通しが立たず、いつまでどこでどのように過ごすか？など不安になる事が多い方がいらっしゃいます。どんな事でも目的ある活動になる事をしよう。できるという体験を積もう。とサポートに取り入れています。買い物や外食、事務のお仕事なども積極的にこなっています。



仕事と余暇が充実した場となるように

仕事として、ウエスの製造、家事スキルにかかわる自立活動などをおこなっています。一人一人の得意な作業や集中できる時間に合わせておこないます。



一人で過ごす余暇 地域で過ごす余暇、場を共有する余暇に分け充実と好きなものを知るために様々なシチュエーションを用意しています。決められた時間好きなことを満喫するという経験がない方も本当に好きな事を教えてもらい地域資源の活用につなげていきます。



ぼぬーるに通うそれぞれの意義

一人一人、ぼぬーるに通う意義は違うと思います。毎日楽しいとまではいなくても、多少なりと良いことがあるから通ってもいいなという場所でありたいと思います。日々の小さな楽しみから半年に一度程度の大きな楽しみの提供。または、お仕事をがんばったら、それに見合った報酬が得られる。それぞれに合った“通う意義”を見出せるようにお手伝いできたらと思います。



意思決定支援と個別支援計画

パーソン・センタード・プランニングという考え方に立ち、取り組んでいきます。コミュニケーションの違いがありますが、ご本人を中心に据え、自己決定・自己表現の機会を大切にすること。お仕事においては、役割を担うことでの自己肯定感の向上を目指します。個別支援計画も様々な形で理解していただけるよう可能な限りの合理的配慮を行い、説明を行って実施します。

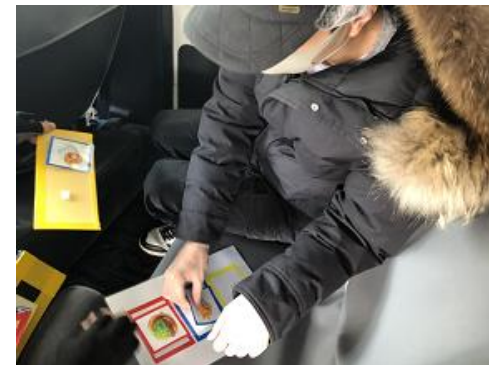


6



一人一人が地域で暮らすために

一人一人に関わるご家族や関係機関との連携を密におこない、小さな変化を共有できる取組みをおこなっております。誰が関わっても生活に混乱や不安が生じないようなサポートを心がけております。



3